

学会ニュースNo.109 トピックス

- ・秋季例会・臨地研究会のご案内(第2報)
- ・評議委員会報告
- ・総会報告
- ・2013年度 研究委員会のお知らせ
- ・会員だより
- ・会費納入のお願い

会 告

○2013年度第37回秋季例会・第110回臨地研究会のご案内 (第2報)

第37回立正地理学会秋季例会、ならびに第110回臨地研究会を、以下の日程で開催します。多くの会員の皆さまの参加をお待ちしております。

第37回秋季例会(宮城)のご案内

1. 日時:2013年11月9日(土)13時30分～16時50分
※会場の受付開始は13時00分から
2. 会場:東北学院大学泉キャンパス 1号館大会議室
仙台市泉区天神沢二丁目1-1

《第37回秋季例会》

- ・立正地理学会・東北学院大学地域構想学科共催シンポジウム(13時30分～16時50分)
- ・テーマ:「東日本大震災からの復興と今後の防災・教育 ―震災から2年を経過した今―」
- ・オーガナイザー:松井秀郎(立正大)、宮城豊彦(東北学院大)、岩動志乃夫(東北学院大)

・プログラム:

- 13時30分 地域構想学科長挨拶、立正地理学会会長挨拶
- 13時40分 シンポジウム開始:趣旨説明(オーガナイザー)
- 13時50分 松本秀明(東北学院大):地形・地層から検出される先史時代の巨大災害
- 14時10分 柳澤英明(東北学院大):仙台平野における津波浸水特性と家屋被害
- 14時30分 初沢敏生(福島大):避難者への生活支援と情報提供
- 14時50分 高木 亨(福島大)・小林健太郎・戸倉 毅(福島県庁):東日本大震災以降の福島県における「大学生事業」が集落に与えた影響
- 15時10分 — 休憩 —
- 15時20分 宮城豊彦(東北学院大):減災時代の地域防災を考える対話型防災マップ
- 15時40分 松井秀郎(立正大):高等学校地理教育における防災教育のあり方
- 16時00分 討論
- 16時50分 終了

《懇親会》

会場:冠(かむり)21 (仙台市営地下鉄, 泉中央駅前, 泉ティ21の2階)
〒981-3133 仙台市泉区泉中央 2-18-1 電話 022-776-1235

会費:一般会員 5,000 円、学生会員 3,000 円(予定)。

懇親会は11月9日(土)18時~20時の予定です。参加を希望される方は、3頁の「※懇親会・臨地研究会の申込み」に従い、必ず集会委員会までお申し込みください。なお、宿泊は各自でご予約をお願いします。

《秋季例会会場(東北学院大学泉キャンパス)へのアクセス》

●公共交通機関を利用の場合:仙台駅から仙台市営地下鉄「泉中央駅行き」に乗車し、終点下車(片道 290 円)。→ 地下鉄泉中央駅バスターミナル4番乗り場から宮城交通バスに乗車、「東北学院大学泉キャンパス正門前」で下車(片道 170 円)。

【行き(地下鉄泉中央発) 土曜日時刻】片道 170 円

- ・松森団地循環行き(学院大・永和台経由、所用約 12 分):毎時 12 分、42 分発
- ・東北学院大学キャンパス行き:10 時 30 分、12 時 25 分発、

【帰り(大学発) 土曜日時刻】片道 170 円又は 220 円(松森団地循環線)

「東北学院大学泉キャンパス正門前」にて乗車(下記いずれも泉中央駅行きです)

- ・地下鉄泉中央駅行き(所用約 12 分)15 時 40 分、16 時、16 時 40 分、17 時 35 分発
- ・松森団地循環行き(終点が泉中央駅、所用約 25 分)毎時 20 分、50 分発

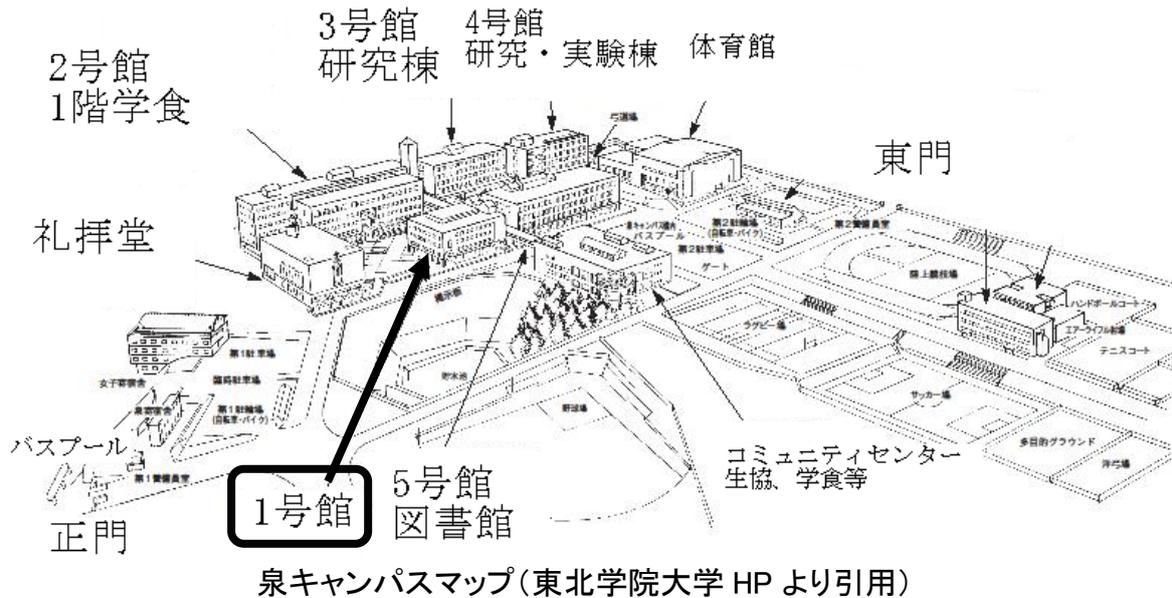
●自家用車を利用の場合

車の場合は、学内の指定駐車場をご利用ください。

●次の地図をご参照ください。



(東北学院大学 HP <http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/access/izumi.html> より引用)



第 110 回臨地研究会のご案内

1. 日時:2013年11月10日(日)8時30分~17時(予定)
2. 集合場所:仙台駅東口代々木ゼミナール仙台校前(8時30分までに集合)
3. テーマ:石巻と大崎を事例とする東日本大震災からの復興—水産加工業・観光業・酒造業を例に—
4. 案内者:岩動志乃夫(東北学院大)、高木 亨(福島大)、阿部広大(東北学院大・学)ほか
5. 参加費:5,000円(貸切バス代、資料代、昼食代、入館料等を含む)
6. コース:仙台駅東口代々木ゼミナール前(集合)→石巻漁港見学→(昼食)→サンファンカン 宮城県慶長使節船ミュージアム見学→一ノ蔵酒造見学→仙台駅西口(解散)
※昼食は、飛翔閣(石巻の海鮮料理)を予定しています。
◎内容に変更があった場合は、立正地理学会ホームページ(<http://geo.rissho-map.jp/>)等でお知らせいたします。
7. 募集定員:25名

※懇親会・臨地研究会の申込み

- 参加を希望する会員は、ハガキもしくは電子メールに氏名・所属・電話番号・電子メールアドレスを明記し、立正地理学会 集会委員会宛にご連絡下さい。締切は 10月30日(水)必着とします。送り先、メールアドレスは次の通りです。
- 住所:〒360-0194 熊谷市万吉 1700
立正大学地理学教室内 立正地理学会集会委員会
- メールアドレス: geosoc@ris.ac.jp
- なお、現地世話人は岩動志乃夫会員(東北学院大)です。メールアドレスは次の通りです。
岩動会員のメールアドレス: isurugi@izcc.tohoku-gakuin.ac.jp

○2013年度立正地理学会評議員会報告

2013年5月31日(金)18時より、立正大学熊谷校舎アカデミックキューブ6階会議室において、出席者13名、委任状提出者12名、計25名にて評議員会が開催された。議事では、2012年度事業報告が島津常任委員長よりなされた。次に、2012年度決算報告が鈴木重雄庶務会計委員長よりなされ、いずれの事項も承認された。引き続き、2013年度事業計画・予算案が提出され、いずれの事項も承認された。(集会委員会)

○2013年度(第68回)立正地理学会総会報告

2013年6月1日(土)11時50分より、立正大学熊谷校舎アカデミックキューブA205教室において、出席者54名、委任状提出者328名、計382名にて総会が開催された。正議長に元木理寿会員、副議長に岡田登会員を選出し議事に入った。議事では、2012年度事業報告が島津常任委員長から、決算報告が鈴木重雄庶務会計委員長から、会計監査報告が岩動会計監査からそれぞれなされた。審議後、いずれの事項も承認された。引き続き、2013年度事業計画案、予算案、立正地理学会役員・委員案が提出され、審議後いずれの事項も承認された。(集会委員会)

○2013年度 研究委員会のお知らせ

1. 新規の委員会

- 「房総における岩」研究委員会 世話人:戸田真夏会員(代表)
委員:谷口智雅、横山俊一、渡辺拓、元木理寿
研究期間:2013年4月～2015年3月

2. 継続の委員会(昨年は活動なしなので新規扱い)

- 災害被災地域の復興・振興に関する検討委員会 世話人:初澤敏生(代表)
委員:松井秀郎、岩動志乃夫、高木亨、藤本直也
研究期間:2013年4月～

3. 参加申し込み

- 委員会名を記載し、氏名・所属・連絡先(住所・電話番号・メールアドレス)を明記して、立正地理学会まで葉書もしくはメール(geosoc@ris.ac.jp)に申し込み下さい。

(長坂副常任委員長)

○会員だより

会員の皆様の情報交換を積極的に進めるため、お送りいただいた文章をご紹介します「会員だより」のコーナーを設けました。多くの会員からの情報提供をお待ちしております。なお、掲載の可否・時期は、広報委員会にご一任いただき、原則として頂戴した文章をそのまま掲載させていただきます。 (広報委員会)

「今地理教育の現場では—全国地理教育研究会の大会に出席して—」

多田統一会員(都立浅草高等学校・非常勤教員)

7月23日から24日にかけて、平成25年度の全国地理教育研究会大会(第58回)が、千葉科学大学を会場にして開かれた。千葉県内の高校に勤務する立正大学地理学科出身の教員も、大会役員として、運営に携わった。2日目の佐原コース・銚子コースの巡検には参加することができなかったが、1日目の講演と研究発表を聞くことができた。

2つの講演が行なわれた。

千葉科学大学危機管理学部教授・植木岳雪氏の「日本ジオパークにおける銚子ジオパークの位置づけ」では、ジオパークのストーリー、銚子ジオパークのキャッチフレーズ、今後の課題について話があった。大学の果たす役割が大きいことが分かった。地域独自のストーリー、持続・発展させていくための運営組織、さらにジオパークは誰のものかなど、今後への課題もある。地理教育の立場から、たいへん参考になった。

文部科学省の教科調査官・濱野清氏の「地理学習における言語活動の充実～『地理』ならではの言語活動とは?～」では、地図の活用ということが強調された。地図を活用することによって、課題解決のための思考力・判断力・表現力などの育成が可能である。地図に掲載されている地名をもっと活用すべきであると思った。

5つの研究発表が行なわれたが、記録を担当した関係で、B会場の2つの発表を聞くことができた。

千葉県立佐原高等学校の石毛一郎氏の「触地図にさわってみよう—視覚障害者が使う地図の体験と紹介—」では、参加者が実際に触地図に触れる経験をするというものであった。この内容は、「地理」や「奉仕」の授業に生かして行きたいものである。

東京都立小平高等学校の中山秀晃氏の「宿泊防災訓練と地理学習」では、地域性を考慮した訓練の必要性を感じた。新学習指導要領で防災教育が重視されており、タイムリーな発表内容であった。防災には様々な教科・科目が取り組んでいるが、地理の果たす役割は、実に大きいと思った。

○会費納入のお願い

2013 年度分の会費が未納の方には、今回の学会ニュースに「会費納入状況のお知らせ」と「払込取扱票」を同封しておりますので、ご納入下さい。また、過年度分会費が未納の方は、過年度分もあわせてご納入願います。会費および郵便振替口座の番号・加入者名は下記の通りです。

一般会員 4,000 円 学生会員 2,500 円
00130-8-13453 立正地理学会

なお、他の金融機関からお振込みされる際にご指定頂く口座は、以下の通りです。お振込みの際は、振込人氏名が会員ご本人の氏名となっておりますことをご確認頂きますよう、お願い申し上げます。

銀行名	ゆうちょ銀行
金融機関コード	9900
店番	019
店名(カナ)	〇一九店(ゼロイチキュウ店)
預金種目	当座
口座番号	0013453
カナ氏名(受取人名)	リッショウチリガクカイ

※学会ニュースや地域研究などの送付先の変更が生じましたら、お早めに立正地理学会までご連絡下さい。また、住所変更のご連絡がなく、新住所のみご記入され、氏名のご記入のない場合には、どなたのお振込みか不明となります。ご入金の際は、払込取扱票の払込人住所氏名の欄に必ず住所と氏名をご記入頂きますよう、お願い致します。

(庶務会計委員会)

編集後記

昨年の同時期発行の学会ニュースNo.106を読み返したところ、「熊谷ではまだまだ残暑が続いており」云々との記述が見あたりました。今年は9月後半に入り、めっきり涼しくなってきました。実りの秋と申しますが、個人的には修士論文執筆の時期であり、より良い論文を提出できるよう、現在、分析作業や文章執筆に励んでいます。秋の立正地理学会では、お一人でも多くの会員とお会いできることを楽しみにしております。また、さらなる紙面充実のため皆様からのご投稿もお待ちしております。(広報委員会 酒井拓明)

立正地理学会ニュース No. 109

2013年 10月 1日発行 編集者 立正地理学会 広報委員会
発行者 立正地理学会 〒360-0194 熊谷市万吉1700 立正大学地理学教室内
電話 048-539-1672 振替 00130-8-13453